

賛成・反対

賛成

小池 一夫

金融団が債権放棄をしてくれればよいが、結局は町が肩代りして返済することになっていた。

パノラマ問題の原点をみんなで考え直した方がいいのではないか。菅平方式のように八ヶ岳方面は県の企業局の開発で作ってもらった施設で多大な利益を上げた。それに対し、西山方面もという地元からの強い要望があり、均衡ある開発とするためにパノラマスキー場をつくったが、バブルがはじけて利益が上がらず、その分を西山方面で負担しろというのはいかがでしょうかと思う。

借金の返済が終わったら民営化することも考えられるが、少なくとも今は借金を返すことが先決と判断し、10億円の支援に賛成します。

賛成

五味 滋

私は以下の理由で賛成します。

- ①10億円貸付のパノラマ支援策は、町長が提案した今回が1回きりのチャンスと考える。
- ②当然借金は町の信用という点からも返済すべきであるし、今なら財政面も何とかなる。
- ③本来は起債の返済が先だが、金融団と話し合いをしてきた中でこの方法が最良と考える。

賛成

平出 英夫

町の財政調整基金を取り崩し、10億円をパノラマに貸し付けることは、住民説明会や団体、個人との話し合いの中で、100%の住民の理解が得られ、支持されたと町長からの報告がありました。基金を取り崩しても借入金の早期返済がパノラマ再生の緊急の課題であり、また、この基金の取り崩しによる緊急時の対応への支障も少ないとの判断により、本件に私は賛成しました。

今後、パノラマは経営体制を刷新し、健全経営が一日も早くできるよう議会としても指導していき、借入金の無くなった時点で速やかに民営化への移行を考えるべきと思います。

本件により住民サービスの低下が起きないように、町と議会は町財政全般を慎重に協議していきます。

賛成

三井 幹人

スキー場の経営体制強化やこれからの集客策の実績などを見定め、新生スキー場としてスタートすることによる更なる町民理解を得るのが先ではないかとの考えから、当面の運営資金として総額2億円の減額する修正案を提出しました。

しかし、パノラマ強化特別委員会では原案が賛成多数となり、本会議では委員会の決に従い賛成しました。

賛成 8 人 ・ 反対 2 人

3月5日の本会議では、賛成議員6名、反対議員2名の討論がありました。採決の結果、賛成8人・反対2人の賛成多数で可決しました。

なお、全議員の連名で町長宛に下記の『付帯決議』を提出しました。

- ①今後とも更に情報公開に努め説明責任を果たすとともに、議会とも常に議論・検討する。
- ②経営体制を刷新し、健全経営のできる体制づくりをする。
- ③新計画を進める中で、年度ごとに計画と実績の評価をし、乖離かいりが生じた場合は、早急に計画の見直しをする。